



2025 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 i s p a c e
代 表 者 名 代 表 取 締 役 CEO 袴 田 武 史
(コード番号：9348 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 野 崎 順 平
(TEL.03-6277-6451)

米国子会社における新経営体制の発足及び 米国子会社代表者（CEO）の異動に関するお知らせ

当社は、当社連結子会社である ispace technologies U.S., inc.（以下、「ispace-U.S.」という。）における、2025 年 4 月 1 日以降の新経営体制の発足及びそれに伴う米国子会社代表者（CEO）の異動について、2025 年 1 月 30 日付で取締役会にて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新経営体制について（米国子会社代表者の異動の理由）

米国の宇宙産業が急速に成長する中、同市場における競争力およびプレゼンスを向上させ、米国宇宙政策およびアルテミス計画への更なる協力を実現することは当社の重要な経営課題と認識しております。この度、米国にある当社連結子会社 ispace-U.S.の取締役会構成を変革し、元米国航空宇宙局（NASA）宇宙飛行士・米国空軍大佐であり現 ispace-U.S. CEO の Ronald J. Garan Jr.（以下、「ギャレン氏」という。）が率いる新体制とすることで、将来的に ispace-U.S. が米国政府の主契約者となり月ミッションを遂行可能な体制へ進化させることを目指します。本新体制の下では、現 ispace-U.S. CEO のギャレン氏が ispace-U.S.取締役会のチェアパーソンに就任いたします。またこれに伴い、ispace-U.S.の新 CEO に現 Program Management 担当の Executive Vice President である Elizabeth Kryst（以下、「クリスト氏」という。）が昇格し就任いたします。

2. 異動の内容（2025 年 4 月 1 日付）

氏名	新役職名	旧役職名
Ronald J. Garan Jr.	ispace-U.S.取締役会 Chairperson	ispace-U.S. CEO
Elizabeth Kryst	ispace-U.S. CEO	ispace-U.S. Executive Vice President of Programs

3. 新任者の経歴

(1) Ronald J. Garan Jr (新 ispace-U.S.取締役会 Chairperson)

ギャレン氏は、米国ニューヨーク州立大学オニオンタ校にてビジネス経済学の学士号を取得後、エンブリー・リドル航空大学で航空科学修士号、およびフロリダ大学で航空宇宙工学の修士号を取得しました。

2000年7月に米国の宇宙飛行士に選抜されNASAへ入局の後、2008年にSTS-124ミッションで初の宇宙飛行を行い、その後2011年には第27次・28次の長期滞在クルーとしてISS（国際宇宙ステーション）に滞在し、通算178日の宇宙滞在記録及び、27時間と3分の船外活動記録を持っています。NASA入局前は、米空軍のF-16戦闘機パイロットとして、通算5,000時間以上の飛行記録を持っています。

米空軍及び宇宙飛行士の経歴と並行して、社会起業家でもあるギャレン氏は過去に複数企業の創立と経営に携わると共に、直近では米国新興宇宙企業のプレジデントとして成長期を牽引する重要な役割を担いました。

2023年6月15日付でispace-U.S. CEOに就任後は、約1年半にわたり、米国市場における当社の基盤構築と急成長を実現させ、宇宙業界におけるispace-U.S.の地位の確立に貢献をまいりました。ispace-U.S.取締役会のChairpersonという重要な役割を新たに担うことで、引き続きギャレン氏は同社の成長と価値向上を目指すと同時に、宇宙業界における広範な経験と知見を活かし、ステークホルダーとの連携強化など戦略的な視点から同社の成長を支えてまいります。

(2) Elizabeth Kryst (新 ispace-U.S. CEO)

クリスト氏は、米国イリノイ州立大学シカゴ校にて科学の学士号を取得後、アリゾナ州立大学にて工学修士号(MEng)を取得しました。

ispace-U.S.入社前は、無人高高度成層圏飛行システムによる多数のリモートセンシングアプリケーションを開発する航空宇宙スタートアップ企業World Viewの事業運営部門のVice Presidentを務めました。

航空宇宙分野において、これまで新製品の導入からプログラム管理、さらに先端材料科学や環境科学分野の戦略的な計画立案まで、さまざまなリーダーシップを担った経験実績があり、ispace-U.S.参画後はプログラム、サプライチェーン、事業開発、コミュニケーション、政府関連業務、および業務改革イニシアティブを担当し、2025年4月1日より同社CEOに就任いたします。

以上